

News Release

2020年2月7日

この資料は BASF 本社(ドイツ)が 2020 年 1 月 15 日に発表した英語のプレスリリースを BASF ジャパンが日本語に翻訳・編集したものです。

BASF、イタリアのポンテッキオ・マルコーニで Irganox®1520L の生産能力拡大

- 世界的な需要の高まりに対応する投資
- 年間20%の生産能力拡大
- 2021年の第一四半期に稼働する計画

BASF(本社:ドイツ ルートヴィヒスハーフェン)は、イタリアのポンテッキオ・マルコーニサイトの酸化防止剤 Irganox®(イルガノックス®) 1520Lの生産能力を20%拡大する計画を発表しました。BASFはプラスチック添加剤の世界的なリーディングサプライヤーであり、Irganox®1520LはBASFの酸化防止剤の主要製品ポートフォリオの1つです。この拡大により、BASFは高まる市場需要に対応し、世界中の顧客により良いサービスを提供することを目指しています。

BASF の欧州パフォーマンスケミカルズ事業本部シニア・バイスプレジデントを務めるアヒム・スティーズは次のように述べています。「Irganox®1520L の増産は、お客様の成長を継続的にサポートするという BASF のコミットメントを明確に示しています。イタリアのポンテッキオ・マルコーニの工場におけるオペレーションのボトルネックを解消することで、市場の需要増加に迅速に対応することができます。」

Irganox®1520L は、溶液重合、乳化重合、熱可塑性エラストマー、プラスチック、接着剤、シーラント、オイル、潤滑剤といった、幅広い用途に有効な酸化防止剤です。単独、少量、あるいは、補助安定剤なしで使用され、加工時や長期の熱老化安定性の両方に寄与する他に類を見ない特長があります。必要に応じて、Irganox®1520L を二次酸

化防止剤、ベンゾフラノン、光安定剤、機能安定剤など、他の添加剤と併用することもできます。

※このプレスリリースの内容および解釈については英語のオリジナルが優先されます。

■BASF のプラスチック添加剤について

BASF はプラスチック添加剤を製造するリーディングサプライヤーであり、この分野におけるイノベーションパートナーでもあります。BASF の包括的かつ革新的な製品ポートフォリオには、各種ポリマーおよび成形品、フィルム、繊維、シート、押出成形品などの用途において加工安定性、耐熱性、耐光性を向上する安定剤などがあります。プラスチック添加剤に関する詳細につきましては、<http://www.plasticadditives.basf.com> をご覧ください。

■BASF について

BASF (ビーエーエスエフ) は、ドイツ ルートヴィヒスハーフェンに本社を置く総合化学会社です。持続可能な将来のために化学でいい関係をつくることを企業目的とし、環境保護と社会的責任の追及、経済的な成功の3つを同時に果たしています。また、全世界で約 122,000 人の社員を有し、世界中のほぼすべての産業に関わるお客様に貢献できるよう努めています。ポートフォリオは、6 つの事業セグメント(ケミカル、マテリアル、インダストリアル・ソリューション、サーフェステクノロジー、ニュートリション & ケア、アグロソリューション)から成ります。2018 年の BASF の売上高は約 630 億ユーロでした。BASF 株式会社はフランクフルト証券取引所(BAS)に上場しているほか、米国預託証券(BASFY)として取引されています。BASF の詳しい情報は、www.basf.com をご覧ください。